

横浜みなとみらいホールはベートーヴェン生誕 250 周年に 特別なベートーヴェン「第九」演奏会を開催します！

今年 2020 年は、ベートーヴェン生誕 250 年のメモリアルイヤーです。横浜みなとみらいホールでは、この特別な年にふさわしく、ピリオド楽器オーケストラによる特別なベートーヴェン「第九」演奏会を開催します。

ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。



渡辺祐介 (C) Yukiko Koshima 第九ソリスト 左から藤谷佳奈枝 (ソプラノ)、山下牧子 (アルト)、中嶋克彦 (テノール)、黒田祐貴 (バリトン)

— 特別な3つのポイント —

【1】ベートーヴェン生誕 250 周年を特別な「歓喜の歌」で盛大にお祝いします。

国内では稀なピリオド楽器 (= 古楽器) 演奏のスペシャリストたちが揃うオーケストラ・アヴァン＝ギャルドが横浜に初登場。聞き慣れた音とは異なる作曲当時の楽器で再現された「第九」の響きは衝撃的にも感じる筈です。そして第九の核心部分「歓喜の歌」は、気鋭の指揮者・渡辺祐介の声がけで集まったソリストと合唱団によって歌い上げられます。古楽演奏のアプローチで歌われる特別な「歓喜の歌」にご期待ください。

【2】フォルテピアノ奏者の川口成彦が《ピアノ協奏曲第 4 番》ソリストとして登場します。

2018 年のショパン国際ピリオド楽器コンクール第 2 位受賞の川口成彦がベートーヴェン《ピアノ協奏曲第 4 番》のソリストとして登場します。楽器は当時のピアノの音色を追求するために選んだ 1802 年頃のブロードウッド社製 (太田垣 至 修復: 2020 年) を使用。ベートーヴェンが生きた時代の音色を届けます。

【3】演奏会を収録し、後日動画配信します。

公演当日は 8 台のカメラを配置し公演を収録。様々な角度から撮られた映像と滅多に聴くことができない「第九」音源を動画配信します。ご来場いただけない方にも「第九」を楽しんでいただけます。

※配信スケジュールについては後日公式ウェブサイトにてお知らせします。[URL] <https://mmh.yafjp.org/mmh/index.php>

公演名：BTVN2020 ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会 – 革新の第九

日時：2020年11月10日(火) 19:00 開演(18:20 開場)

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

出演：渡辺祐介(指揮)、藤谷佳奈枝(ソプラノ)、山下牧子(アルト)、
中嶋克彦(テノール)、黒田祐貴(バリトン)、川口成彦(フォルテピアノ)
オーケストラ・アヴァン＝ギャルド(オーケストラ)
クール・ド・オーケストラ・アヴァン＝ギャルド(合唱)

曲目：<オール・ベートーヴェン・プログラム>

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲、ピアノ協奏曲第 4 番
交響曲第 9 番「合唱付き」

料金：全席指定 S 5,500 円 A 4,500 円 ※チケット発売中

主催：横浜みなとみらいホール (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

問合せ：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします



川口成彦 (フォルテピアノ)

ブロードウッド社製フォルテピアノ